

廣田豊春氏が紺綬褒章を受章

公益のために私財を寄附した方に贈られる紺綬褒章を廣田豊春さん（五間堂町）が受章されました。アイ・ミルク北陸株式会社取締役会長でもある廣田豊春さんは12月23日、市役所を訪れ、井出市長から紺綬褒章受章を伝達されました。

廣田さんは令和元年10月に、近代九谷の名工である笠間竹雪の『色絵牡丹に孔雀図花瓶』を能美市に寄附されました。

廣田さんは「皆さんのおかげでここまで来られた。たくさんの方に作品を観ていただきたい」と述べられました。

寄附いただいた作品は、現在、市九谷焼美術館一五彩館一の間にて展示されています。



廣田豊春さん(中央)、ご子息の廣田孝司さん(左)と井出市長

元気でやろう会が知事表彰

市内でボランティア活動をしている「元気でやろう会」が10月27日、石川県社会福祉功労者知事表彰を受賞されました。

「元気でやろう会」は、辰口地区の公園や空き家、ひとり暮らし高

齢者の敷地内の草刈り・剪定を主な活動としています。また、リサイクル品の収集・分別にも協力するなど、環境整備を中心とした地域貢献を積極的に行っています。

寺井中学校同窓会、武腰一憲さん、高田忠則さんへ感謝状を贈呈

昨年11月に、寺井中学校同窓会から寺井中学校創立70周年記念として、壁掛け式プロジェクト等のご寄附をいただきました。それを受け1月7日に行われた感謝状贈呈式では、井出市長から寺井中学校同窓会代表の朝倉康栄さんへ感謝状が贈られました。

いただいた壁掛け式プロジェクトは寺井中学校の授業などで活用されています。また、1月8日には同じく寺井中学校創立70周年記念として、九谷焼のご寄附をいただいた、武腰さん、高田さんにも感謝状が贈られました。



左から、前田さん、浅井さん、朝倉さん、井出市長、東森さん



左から、井出市長、武腰さん

のみ商業協同組合が新ホームページを開設

のみ商業協同組合の企画した、地元商店を身近に感じてもらい、地域を深く知ってもらうための取り組みが、地元や商店街等の良さを再認識するきっかけになるとして、国の支援事業「GoTo 商店街」の採択を受けました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出により、「チラシ」による地域クイズ」事業が中止となりましたが、加盟店舗の情報を発信するホームページを新たに開設して地元商店の活性化を図ります。



採択の報告をするのみ商業協同組合の皆さん。ホームページは「のみ商業」で検索してください。

祝百寿 関さん おめでとうございませう

1月1日、関捨吉さん（浜開発町）がめでたく100歳を迎えられ、井出市長からお祝い状と記念品が贈呈されました。

現在も自営の鉄工所で仕事を続けている関さん。職場内を自由に歩かれています。好物は赤飯や餅で、何でも好き嫌いなく召し上がるそうです。長生きの秘訣は「自由きままに過ごすこと」と話され、井出市長が「これからも長生きしてください」と声を掛けるとにこやかに笑っておいでました。



関さん(左)とご家族と井出市長

別所商店「九谷珈琲」完成を報告

九谷焼とコーヒーを販売している別所商店の店主「別所裕介さんが1月7日、市役所を訪れ、新商品「九谷珈琲」の完成を報告しました。九谷焼を広く知っていたために製造された独自のブレンドのドリップコーヒーで、5種類のパッケージ



別所さん(左)と井出市長。「九谷珈琲」は、市九谷焼美術館 | 五彩館 | 等で販売しています。

国際交流ひろばを開催

12月12日から20日まで、能美ふるさとミュージアムで国際交流ひろば企画展が開催されました。

SDGsの観点からとらえた各国国際交流団体の活動内容を紹介するパネル展示のほか、市民のインタビュ動画放映や世界の珍しい民芸品・雑貨販売も行われ、会場の雰囲気からも国際色や異文化を感じられる場となりました。足をとめて一つ一つの展示をじっくり眺める方が多く、SDGsや多様性について関心を持つことの大切さを知っていただくことができました。



1 展示の様子
2 民芸品や雑貨を販売しました

歳末助け合い入札展

12月11日から13日まで、寺井地区公民館で、第57回歳末助け合い入札展が開かれました。今回は、著名作家の九谷焼をはじめ、皿などの日用品、書や絵画など222点が寄贈されました。

12月25日には寄付金の贈呈式が行われ、益金に市商工会の寄付金20万5千円を加えた152万8260円が、主催者代表で市美術作家協会の山岸大成理事長から井出市長を経て、市共同募金委員会の田上好道会長に手渡されました。



田上会長（中央）へ益金が手渡されました。

市役所正面玄関のパネルを更新

新年の幕開けに合わせ、市役所の正面玄関のパネルを更新しました。市役所では毎年、「夢」をテーマにパネルを掲示しています。

今年も、希望に満ちた1年になることを願って、2021年に開催される東京オリンピック代表に内定している鈴木雄介選手と平田しおり選手、聖火ランナーの皆さんをモデルにしています。庁舎へお越しの際はぜひご覧ください。



パネルは正面玄関北側壁面に掲示しています。

金沢学院大学「第4回企業訪問ツアー」開催

市内企業の研究とキャリア形成の機会提供として、金沢学院大学生を対象に「第4回 KnowMe 能美ツアー」or「金沢学院大学」能美の企業の魅力、発見ツアー」を開催しました。

11月27日に経営情報学部の佐藤淳教授のゼミ生12名が(株)中東を訪問しました。担当者から、同社で製造されている集材の種類、製法、施工事例の説明を受けた後、実際の製造現場を見学し、技術力や労働環境について理解を深めました。



訪問の様子

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

寺井地区民生委員児童委員協議会が社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

12月23日に市役所で伝達式が行われ、井出市長から寺井地区民生委員児童委員協議会会長生田綱代さんに表彰状が手渡されました。

同協議会は、要支援者の見守り活動のほか、ひとり暮らし高齢者の誕生日祝いや新生児誕生祝いの訪問、児童の登下校時のあいさつ運動や見守り活動など、幅広く地域福祉活動を推進しています。



生田会長（左から2番目）へ表彰状が手渡されました。

和佐谷橋で橋名板取り付け式

和佐谷橋は、能美市と白山市を結ぶ人道橋で、橋梁の長寿命化を図るための大規模改修工事を平成29年度に着手し、一昨年9月に完成しました。

12月25日、地元関係者が参加し、橋の歴史を後世に伝えるための、橋名板取り付け式が行われました。

橋名板は、串田遥規君（小学5年）、川邊翔君（小学4年）、谷本大悟君（小学3年）の3人が毛筆で書き下ろしたものを元に作成し、生まれ変わった和佐谷橋に取り付け、新たなスタートを祝いました。



除幕を行いました

取り付けた橋名板

能美市消防団出初式を開催しました



式典の様子

1月9日、本年が火災のない1年であることを願い、新春恒例の「能美市消防団出初式」を能美市防災センターで開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大状況の決意を新たにしました。

況を鑑み規模を縮小し、人数制限を行い、また服従規律点検・初放水を中止としました。参加した団員らは、消防団としての職務遂行の決意を新たにしました。

○消防団員を募集しています
消防団員は普段は仕事をもちながら「自らの地域は自らが守る」という精神に基づき、災害発生時や訓練時には自宅もしくは職場等から出動して活動します。あなたも消防団員として、まちの防災の担い手になりませんか。詳しくは消防本部までお問い合わせください。
問/消防本部庶務課
(☎ 58-4119 ☎ 58-6299)

- 表彰者（敬称略）
- 石川県定例消防表彰
永年勤続功労章
山本 武（辰口分団）
西田 雄峰（寺井分団）
古田 裕（寺井分団）
岡嶋 泰宏（寺井分団）
 - 能美市消防表彰
永年勤続功労章
加藤 拓二（寺井分団）
田中 秀和（根上分団）
北浦 康裕（寺井分団）
 - 精勤章
古西 圭祐（根上分団）
上木 孝司（辰口分団）

能美の女組が年末防火査察を実施

12月26日、能美市消防団女性分団「能美の女組」が、ゲンキー佐野泉台店、ゲンキー寺井南店の市内2店舗で、年末防火査察を実施しました。

これは、年末年始等、人の出入りが増える時期になる前に、市内店舗の防火設備や避難経路等、防火管理状況が適切に行われているかを点検するものです。

女性分団は昨年10月に発足し、防火査察を行うのは初めてです。今回参加した5名の女性団員は、実際に消防本部職員から指導を受けながら、消防用設備等を点検しました。



消防用設備等の点検をする女性団員

「九谷焼ソーブデイスペンサー」 山田義明さんらが完成を報告

九谷焼作家の山田義明さん、柴田有希佳さんが12月23日、市役所を訪れ、新商品「九谷焼ソーブデイスペンサー」の完成を報告しました。

絵柄は全12種類で、ツバキやザクロなど四季の植物とカワセミやフクロウなどの鳥が描かれています。

このたび10種類が市に寄贈され、井出市長は「高級感のある素晴らしい作品。大切に活用させていただきたい」とお礼を述べました。



山田さん（中央）、柴田さん（右）と井出市長

シルバー人材センター会員有志が 市内7か所に門松を設置

能美市シルバー人材センター会員有志の皆さんが、12月25日、門松を市役所前に設置してくださいました。門松は手作りで、数日前から竹の切り出しなどの準備をしており、当日は切り出した竹と縁起物の植物を井出市長立ち合いのもと植え込み設置しました。

門松は、市役所正面玄関前をはじめ、能美ふるさとミュージアムなど市内7か所に設置されました。



シルバー人材センター会員有志の皆さんと井出市長

防災啓発映画上映会を行いました

12月13日、平成26年広島土砂災害や、東日本大震災などを題材に、防災への啓発目的に制作されたドキュメンタリー映画「いつか君の花明かりには」の上映会を能美市防災センターで行いました。

上映後に行われたフィルムトークでは、監督の小川光一さんと、映画の出演者である防災士の柳原志保さんが、映画を通して伝えたい想いや自身の体験談をお話しされ、来場者は真剣な様子で耳を傾けていました。



本映画に込めた想いを語る小川監督

災害伝承講演会を行いました

12月20日、災害伝承講演会を能美市防災センターで行いました。

講師の草貴子さんが、東日本大震災災害伝承語り部として、「私の3・11と明日への備え」と題して講演を行いました。

草さんは「災害時には人間のいろんな面を見ました」と当時を振り返り、「10年経つと、関心も薄れてくるので、定期的な防災訓練が必要です」と自身の経験をもとに力強くお話しされました。質疑応答では、活発な意見交換が行われました。



自身の被災体験を語る草さん